

厚生労働省北海道労働局発表  
令和5年6月26日

担当	厚生労働省 北海道労働局労働基準部安全課 安全課長 佐藤 浩一 主任安全専門官 納 裕美 電話：011-709-2311（内線 3551）
----	---

### 「建設業死亡災害撲滅に向けた監督指導及び個別指導重点月間」を実施します。

～取組期間 7月1日～7月31日まで～

北海道労働局（局長 友藤 智朗）では、第13次労働災害防止計画期間中に建設業における死亡労働災害が最も多く発生した7月に以下のとおり「建設業死亡災害撲滅に向けた監督指導及び個別指導重点月間」を実施します。4月から6月の「建設工事着工期労働災害防止運動」期間終了直後に監督指導及び個別指導を行うことで、各現場で取り組んだ重点実施事項の定着を図り、死亡災害の発生に直結しやすい作業に係る安全確保対策の徹底を行います。

#### 1 取組期間

令和5年7月1日～7月31日

#### 2 実施事項

特に死亡災害の発生に直結しやすい災害防止対策に係る以下の6項目を重点指導事項として全道の労働基準監督署（支署）において建設業に対する監督指導及び個別指導を重点的に実施します。

- (1) 元方事業者の統括安全衛生管理の徹底
- (2) 墜落、転落災害防止対策の徹底
- (3) 建設機械等による災害防止対策の徹底
- (4) トラック等車両系荷役運搬機械による災害防止対策の徹底
- (5) 崩壊、倒壊災害防止対策の徹底
- (6) 熱中症対策の徹底

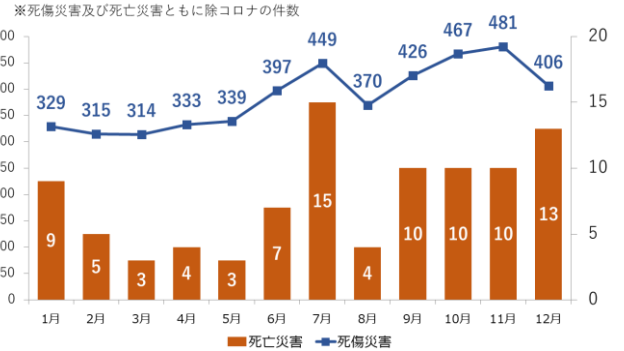
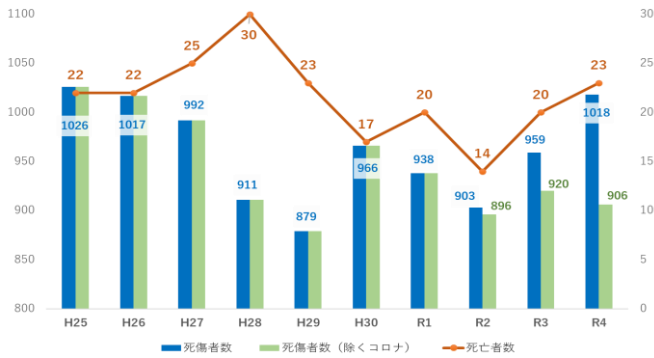
（道政記者クラブ・経済記者クラブに同時提供）

#### 【参考資料】

- 1 第13次労働災害防止計画期間中の建設業に係る死亡労働災害発生状況

# 13次防期間中における死亡労働災害発生状況（建設業）

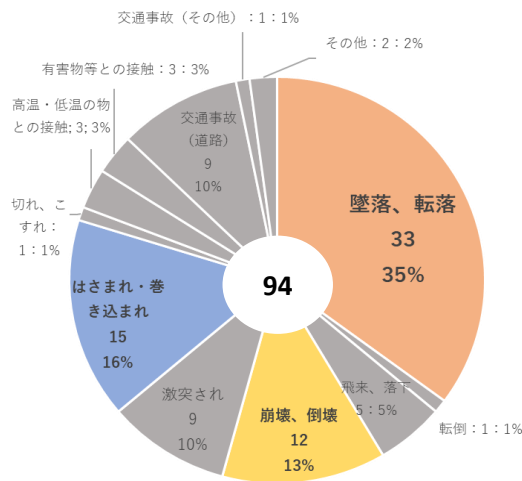
## 死傷災害発生状況の推移と月別死亡災害発生状況



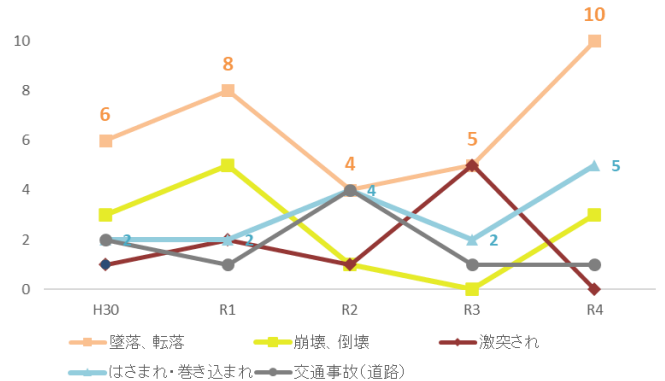
死亡災害は令和2年に14名と過去最少人数となったものの、その後は毎年増加しており、令和4年は23名と13次防期間中では最も多くなっている。

死亡災害は7月に最も多く発生している。また、死亡者数は下半期（62人）は上半期（31人）の2倍となっている。

## 事故の型別発生状況（13次防期間（H30～R4）の累計）

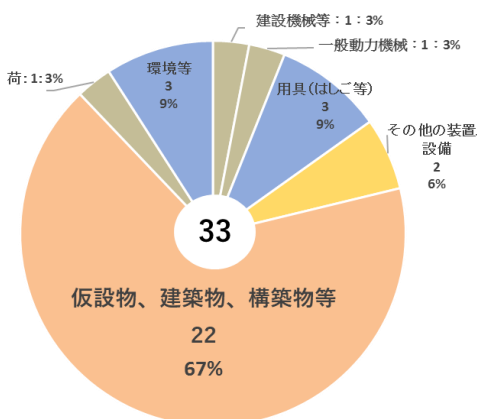


墜落転落災害が最も多く発生しており、特に令和4年はその傾向が顕著である。

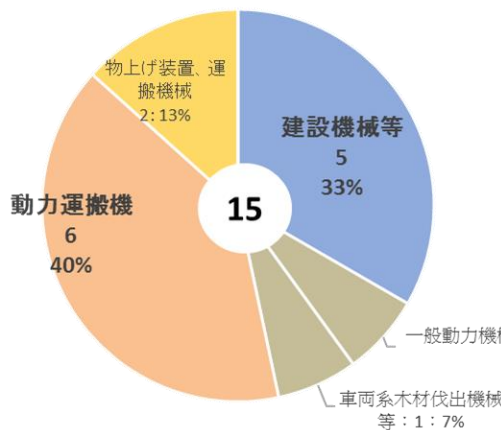


## 事故の型別起因物別発生状況（13次防期間（H30～R4）の累計）

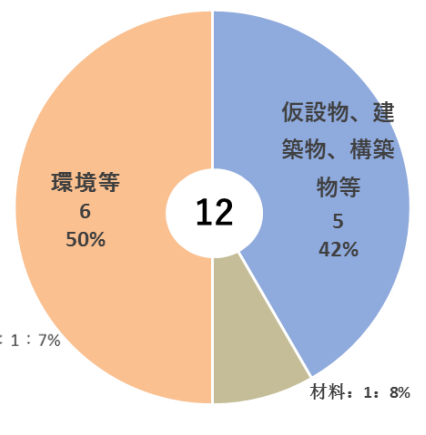
### 墜落、転落



### はさまれ・巻き込まれ



### 崩壊、倒壊



（仮設物、建築物、構築物等内訳）

